

ぐるり30

～自治調査会だより～

2018
7

No. 058

[発行日]
2018.7.1



【写真提供】新島村 【撮影場所】式根島 泊海岸

- ▶平成30年度 調査研究結果発表シンポジウムのお知らせ…… 2
- ▶平成29年度 調査研究報告書の紹介
「スポーツを活用した地域活性化に関する調査研究報告書
(ケーススタディ:立川市・国分寺市)」…………… 3
- ▶オール東京62市区町村共同事業
みどり東京・温暖化防止プロジェクト市町村助成事業紹介…… 4
武蔵村山市 環境学習会
多摩市 多摩市版クールシェア事業
八丈町 檜立・中ノ郷・末吉地域花いっぱい運動推進事業
- ▶ちょっと一息「とっておきの島しょの土産」…………… 5
- ▶東京愛らんどフェア「島じまん2018」が開催されました…… 6
- ▶平成30年度広域的市民ネットワーク活動支援制度申請団体募集中… 7
- ▶多摩交流センターだより
・多摩発・遠隔生涯学習講座7・8月開催予定の講座案内… 8
・東京雑学大学8月講義案内…………… 8
・TAMA市民塾・日曜講座のお知らせ…………… 9
- ▶編集後記…………… 9
- ▶とっておきフォトスポット～新島村～…………… 10

Contents

7月の内容

公益財団法人

東京市町村自治調査会

(公財) 東京市町村自治調査会
平成30年度 調査研究結果発表シンポジウム

人口減少・少子高齢化社会を見据えた多摩・島しょ地域自治体における

地域戦略としての多文化共生

～経済分野と防災分野の取組から～



昨年度に行った「多文化共生に向けた地域における国際交流に関する調査研究」の成果を踏まえたシンポジウムを開催いたします。皆様のご参加お待ちしております。

平成30年
日時 **7月23日(月)**
13:30～16:45 (12:30受付開始)

会場案内

府中市市民活動センタープラッツ バルトホール

〒183-0023 府中市宮町1-100 ル・シーニュ5階

□ アクセス

京王線 府中駅南口から徒歩1分(駅直結)

JR線 南武線、武蔵野線 府中本町駅から徒歩10分
(有料駐車場・有料駐輪場あり)



プログラム ※手話通訳・要約筆記あり

○基調講演

「多摩・島しょ地域自治体による戦略的な多文化共生施策の必要性和今後の展望～人口減少・少子高齢化社会を見据えて～」

田村 太郎 (一財)ダイバーシティ研究所 代表理事
兼 明治大学大学院 兼任講師

○調査研究結果発表

「多文化共生に向けた地域における国際交流に関する調査研究結果」

白坂 奈往 (公財)東京市町村自治調査会 調査部 研究員

○パネルディスカッション

コーディネーター

田村 太郎 (一財)ダイバーシティ研究所 代表理事
兼 明治大学大学院 兼任講師

第1部 経済分野

【外国人材の活躍による地域の活性化に向けて】

「福岡市における就職支援等を通じた留学生の地域への定着促進に関する取組」

高木 泉美 福岡市 総務企画局 国際部 国際政策課長

「外国人に対する居住支援の現状や空き店舗対策×外国人の取組」

後藤 裕幸 (株)グローバルトラストネットワークス 代表取締役

第2部 防災分野

【外国人との共生による安全・安心な地域づくりに向けて】

「草津市における外国人留学生等による機能別消防団の取組」

中西 まり子 草津市国際交流協会 副会長

「外国人の防災意識とイスラーム教施設での防災に関する現状」

アタライ 由希 (宗)日本・ディヤーナト

参加申込み方法(先着80名)

※事前申込み人数により当日参加可。

【WEB】<https://comm.stage.ac/itmrsympo30/>

【FAX・郵送】「参加申込み用紙」の内容をご記入の上、下記事務局まで送付してください。

お申込み締切日 7月13日(金) 必着 ※先着順に「参加証」をお送りします(1週間程度で発送)。当日ご提示ください。

※多摩・島しょ地域自治体職員の方は、各自治体研修担当を通じてお申し込みください。

参加申込み用紙

※下記の項目についてご記入ください。*印は記入必須項目です。

※代表者宛に「参加証」をお送りします。異なる住所への送付をご希望される場合は、別途お申し込みください。

代表者氏名(ふりがな)*	住所* 〒	TEL*
		FAX
お申込み人数*	人	E-mail

【参加申込み・お問合せ】

「平成30年度調査研究結果発表シンポジウム」事務局(株式会社ステージ内 10:00～18:00 土日・祝日を除く)

〒171-0042 東京都豊島区高松1-1-11 TEL 03-5917-0203 FAX 03-5966-5773



平成29年度 調査研究報告書の紹介

本紙5月号（No.56）で概要を紹介した平成29年度の調査研究報告書のうち、5件の調査研究報告書について、隔月で詳細を紹介していきます。今号では、「スポーツを活用した地域活性化に関する調査研究報告書(ケーススタディ：立川市・国分寺市)」を紹介します。

スポーツを活用した地域活性化に関する調査研究報告書 (ケーススタディ：立川市・国分寺市)

1. 背景・目的

本調査研究は、平成28年度に実施した「多摩・島しょ地域におけるスポーツを活用した地域活性化に関する調査研究～スポーツコミッションの機能に着目して～」(1年目調査)の調査結果を活用し、ポイントを絞り込んださらなる調査(2年目調査)となります。

2年目調査では、スポーツを活用した継続的なまちづくりの可能性を提示することを目的に、具体的な地域(モデル地域)においてスポーツコミッション設置の可能性を考えています。

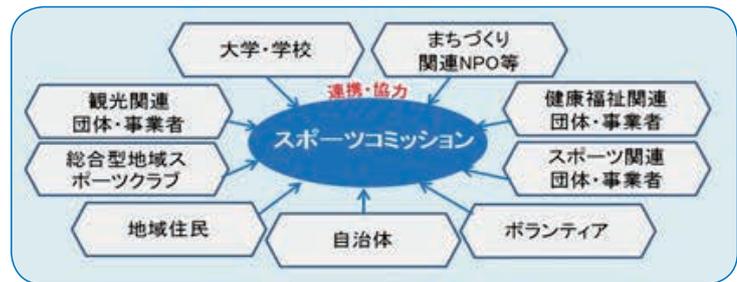
平成29年度 自治調査会複数年調査
スポーツを活用した地域活性化に関する
調査研究報告書
(ケーススタディ：立川市・国分寺市)

平成30年3月

公益財団法人 東京市町村自治調査会

スポーツコミッションとは

「スポーツを活用した地域活性化」において、各地域の状況に応じて様々な分野でスポーツが持つ効果を最大限に引き出すための中心的役割を果たす組織をいいます。



2. 調査の対象と方法

多摩地域のモデル地域として、立川市と国分寺市を選定し、以下の調査を実施しました。

- (1) 文献調査 (ホームページ及び提供資料)
- (2) ヒアリング調査 (自治体及び関係団体)
- (3) 検討会 (有識者及び多摩地域自治体職員との意見交換、調査結果の還元)

3. 立川市・国分寺市におけるスポーツコミッションの方向性

(1) 立川市

～既存事業の連携を活かしつつ、地元スポーツチームを基軸としたシビックプライドの醸成を～

立川市には、様々なイベントやスポーツチームが存在します。そのため、地元スポーツチームを軸に包括的な連携組織を検討することで、スポーツが持つ「健康増進」効果はもちろん、「シティセールス」や「市への愛着醸成」などのシビックプライドにつながる効果も期待できます。

(2) 国分寺市

～地域一丸で総力をもって総合的なスポーツ環境の向上を～

国分寺市は、スポーツ分野に限らず、その他の分野の取組やネットワークを活用することで、スポーツが持つ効果を最大限に発揮できます。そのため、地域一丸となった連携体制を築いていくことで、スポーツ環境の向上や、総合的なまちの魅力の向上につながる効果が期待できます。



オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村助成事業紹介

本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。本助成を活用して多摩・島しょ地域の自治体で実施された事業を紹介します。

かれん



かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。



シーナ

1 武蔵村山市

環境学習会

小学生を対象に、豊かな自然が残っている都立野山北・六道山公園内の里山民家周辺で、昆虫や動植物、水生生物を観察し、自然と触れ合える機会を得るとともに、自然環境を大切にする気持ちを養うために行っています。

毎年、春と秋に、その季節に見られる生物を捕獲したり、植物散策をしたり、小川に住む小魚などと触れ合ったりするなど、参加した子どもたちは生き生きと目を輝かせ、泥まみれ、水まみれになりながら楽しい時間を過ごしています。

また、捕獲した昆虫などは学習会終了後には元の自然に戻すことも学んでいます。

【問合せ先】武蔵村山市 環境課 TEL 042-565-1111



2 多摩市

多摩市版クールシェア事業

国が推進するクールシェアの多摩市版を、平成25年度から市内事業者と連携をしながら実施しています。

趣旨に賛同する協賛店舗・施設からの魅力ある来店特典の提供により、市民が自宅のエアコンを消してまちに出掛け、「我慢する」というイメージがある省エネを、楽しみながらお得に推進できる仕組みが多摩市版の特徴です。

地域が一体となって地球温暖化防止に取り組む夏のイベントとして定着しており、平成29年度は、163の店舗・施設からの協賛と27,335人の市民に参加をいただき、地域経済の活性化にも寄与しています。

【問合せ先】多摩市 環境政策課 TEL 042-338-6831



3 八丈町

檜立・中之郷・末吉地域花いっぱい運動推進事業

八丈島の南部に位置する檜立・中之郷・末吉の3地域では、花と緑の町づくりにむけて、各自治会が主体となり「花いっぱい運動」を推進しています。道路沿いに植栽され南国イメージを彩るハイビスカスやピロウヤシの手入れをはじめ、空き地等を利用した花壇づくりや花木の植栽に地域住民が協力して取り組んでいます。

島を訪れる観光客の目を楽しませるだけでなく、作業を通じて花木・草花への理解と自然を大切にする心が育まれています。

【問合せ先】八丈町 住民課 TEL 04996-2-1123





ちょっと一息



とっておきの島しょの土産

今回の7月号から9月号にかけて、東京の島しょ地域のお土産を掲載していくよ。第一弾は、表紙でも案内しているけど、東京の南約160キロに位置する新島の新島ガラスを紹介するね。

島の特産物に、コーガ石と呼ばれている火山岩（黒雲母流紋岩）があって、新島ガラスの原料となるんだ。このコーガ石は約8割が石英^{せきえい}でできていて、溶解すると、含まれる鉄分の影響で透明感のあるオリーブ色に発色するよ。

新島ガラスは、島内の各所に飾られていて、特に新島ガラスアートセンターでは、作品が展示されていたり、ガラス工芸体験教室も開催されているんだ。

この新島ガラスを使った、新島葉付きりんごペーパーウエイトは、重量感があって、使いやすいよ。綾目グラスやロックグラスを使って、ジュースやお酒を飲んだらおいしそうだね。みなさんも気に入ったら、ぜひ使ってみてね！



新島葉付きりんご
ペーパーウエイト



新島ガラス
綾目グラス



新島ガラス
ロックグラス

最後のページに新島ガラスアートセンターの地図があるよ。

今回紹介したお土産は、前号で紹介した、竹芝客船ターミナル内の「東京愛らんど」（最寄駅はJR浜松町駅ほか）というお店で販売しているから、ぜひ見てみてね。

東京愛らんどホームページ(<https://www.tokyoislands-net.jp/>)でも、通信販売しているよ。

【情報提供】公益財団法人 東京都島しょ振興公社 TEL 03-5472-6546

今年の夏も
大当たりの組いすませ!!

サマージャンボ
1等前後賞合わせて7億円 1等5億円、前後賞各1億円

億円

サマージャンボミニ
1等前後賞合わせて7,000万円
1等5,000万円、前後賞各1,000万円

千万円

7月9日(月) 同時発売 各1枚300円
発売期間 7月9日(月)~8月3日(金)
抽せん日 8月14日(火)

公益財団法人 東京都区市町村振興協会
2018年市町村振興宝くじ

この宝くじの収益金は区市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。



東京愛らんどフェアが
開催されました

「島の良いもの、海を越えてやってきた!」と銘打った「東京愛らんどフェア『島じまん2018』」が、5月26日(土)・27日(日)の2日間、港区にある竹芝棧橋で開催されました。

「島じまん」とは、2年に一度開催される、東京の島々の特産品の販売や特設ステージでの郷土芸能の披露など、企画が盛りだくさんの伊豆諸島・小笠原諸島の魅力を体験・発信するイベントです。



▲ 展望エリアから見渡すメインエリア

会場では、神津島の新鮮なキハダマグロ・メダイ・赤イカがたっぷり盛られた海鮮づけ丼など、各島の食材を使用したご当地料理の数々が提供され、それらを求める人々で行列ができていました。その他にも各島の特産品の展示・販売が行われ、こちらも大いににぎわっていました。

さらに、西多摩地域町村の特産品や、東日本大震災の復興応援として福島県の特産品の販売等もあり、こちらも大人気でした。

会場内に設置された特設ステージでは、2日間途切れることなく、各島の伝統的な踊りなどの郷土芸能の披露や、ゲストとして東京海洋大学名誉博士／客員准教授である「さかなクン」の世界一受けたいお魚授業などが催されました。

郷土芸能の披露では、太鼓のリズムや演舞者のパ

フォーマンスなどでステージと観客が一体となって盛り上がり、「さかなクン」のお魚授業では、“伊豆諸島・小笠原諸島の魚介類や海洋生物”をテーマに、ご自身が描かれたイラストを基に、分かりやすい解説で家族連れからお年寄りまで観客を楽しませていました。



▲ 特設ステージでの神津島太鼓の演奏

他にも、アンケートに答えると利島産の椿油で作られた島椿せっけん等の景品が当たる抽選コーナーや、三宅島をドローンから撮影した映像が楽しめるVR体験コーナー、新島の貝殻などを使ったアクセサリーづくり、戦前から小笠原に伝わる固有種「タコノキ」の葉を編み上げた民芸品づくりなどの体験型のイベントもありました。



▲ 新島・式根島の貝殻等を使用したグッズの販売

また、「椿まつり写真コンクール」の入賞作品も会場に掲示され、たくさんの方がそれぞれの作品に見入っていました。

天候にも恵まれ、2日間で延べ約11万人が来場し、島の魅力を伝えるために開催された『島じまん2018』は、大盛況の中で幕を閉じました。

皆さんは、東京島しょ地域には9つの町村があり、一般住民が住む有人島は、11島あることを御存知でしょうか。

東京から各島へのアクセスは、竹芝棧橋発の船便の他に航空便(一部の島のみ)があります。

それぞれの島の魅力をもっと間近で味わうために、是非、東京の島へ行ってみませんか。

～活動支援制度を活用して 広域的な市民活動を始めてみませんか?～

平成30年度

広域的市民ネットワーク活動支援制度

申請団体募集中!!

当調査会では、多摩地域を先導するまちづくり運動として、市町村のワクを越えて行われる市民活動がより拡大し、充実したものとなるために支援をしています。

現在、市民活動はさまざまな分野・テーマに及んでいます。特に子育て・高齢者・障害者支援、防犯・防災活動などは、より市民の力が必要とされています。

日頃の皆さんの広域的な活動の成果や発表の場の経費の一部を助成することによって、市民ネットワークや相互交流を推進し、多摩地域のひとづくり、まちづくりへとつなげていきます。

活動支援制度とは?



(1) 対象

- 市民活動を一つの市町村だけではなく、複数の市町村で行う活動として、新たに広域的な市民ネットワークをつくらしてみたい、もっと拡充したいとお考えの市民団体

(2) 助成率及び金額等

- 助成対象事業費の60%(30万円が限度)
- 助成期間は、連続する3年度の間で2回まで(ただし、1年度間で1回の支援が限度)

申請の主な要件は?

(1) 支援の対象となる団体の主な要件

- 多摩地域で広域的な市民活動をしてみたい、または、拡充したいとの意向のある団体で、支援の必要があると認められること。(※既に自立的な活動を継続して行っている団体、当調査会の助成制度・支援制度を受けた団体は対象外です。)
- 本拠地が多摩地域内にあり、活動区域が多摩地域内複数自治体内である(志向している)こと。

(2) 支援対象となる主な活動(事業)要件

- 多摩地域のまちづくりにおける広域的な課題を活動テーマとしていること。
- 多摩地域全体の市民を対象とした活動(事業)であること。
- 市民団体が主体的、創造的に取り組む活動(事業)であること。

※ その他にも申請に当たっての要件がありますので、下記の方法で制度の詳細をご確認ください。

制度の詳細は、多摩交流センターで配布している「平成30年度広域的市民ネットワーク活動支援制度【活動支援】の手引き」、または、当調査会のHP (<http://www.tama-100.or.jp/>) をご覧ください。「手引き」はホームページ内でダウンロードすることもできます。

申請に当たっては、随時相談を受け付けていますので、お気軽にお問合せください(事業実施の2カ月以上前までにご連絡ください)。

問合せ先

公益財団法人 東京市町村自治調査会 事業部 企画課
東京都府中市新町2-77-1 TEL 042-382-7781

※この制度は、当調査会の平成30年度予算の範囲内での実施になります。
※既に自立的な活動を継続して行っている団体が対象の「平成31年度事業助成」制度は、11月頃に説明会を行う予定です。



多摩交流センターだより

インターネット
放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催
後援：武蔵野市教育委員会

7・8月開催予定の講座案内

173回

題名

体験の大切さを実物で学ぼうよ

日時 平成30年7月12日(木) 14:30から約1時間

講師 高原 北雄 氏(NPO法人全国生涯学習ネットワーク会長・元名古屋大学教授・元航空宇宙技術研究所部長)

内容 72年前に誕生した真空管式の電子計算機は、今や関連電子機器の技術進歩により人間の能力を遥かに超え、社会は激変し始めています。これからの未来社会に対応するために今回の講義では、多くの実物を使い、科学マジック風に「体験学習の大切さ」を会得しながら、これからの生涯学習について考えるきっかけにしたいと思います。



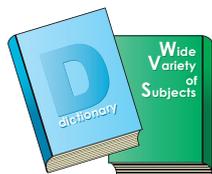
174回

題名 日本画と旅 日時 平成30年8月9日(木) 14:30から約1時間
講師 安東 路翠 氏(日本画家)

- 受講料 無料(ただし資料代100円)
- メイン会場 多摩交流センター 第2会議室(申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。)
- サテライト会場 武蔵野市かたらいの道
- ライブ中継・VOD視聴について

多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

問合せ先 TEL 070-2648-3520(高原) TEL 042-252-0908(菅原)



特定非営利活動法人

東京雑学大学

平成30年8月講義案内

(受講料は会員無料・会員外は8月9日を除き、1回500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	教場
第1143回	8月2日(木) 14:00から	万葉集に歌われた東国	小野 寛 氏 (駒沢大学名誉教授・高岡市万葉歴史館名誉館長)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
第1144回 ※	8月9日(木) 14:30から	日本画と旅	安東 路翠 氏 (日本画家)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市かたらいの道 (JR三鷹駅北口 徒歩3分)
第1145回	8月16日(木) 14:00から	イザベラ・バードを迎える	岡田 常義 氏 (元ポリプラスチック(株)常務執行役員)	田無公民館 (西武新宿線田無駅南口 徒歩3分)
第1146回	8月23日(木) 14:00から	日本のライフスタイル～ 住居と都市の在り方について	棚橋 廣夫 氏 (株)エーディーネットワーク建築研究所 代表取締役)	柳沢公民館 (西武新宿線西武柳沢駅南口 徒歩1分)

☆申込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

※第1144回は、第174回多摩発・遠隔生涯学習講座と共同で実施します。メイン会場は多摩交流センターです。

問合せ先 TEL 042-465-3741(浅田) TEL 042-252-0908(菅原)

TAMA市民塾・日曜講座のお知らせ

第114回

山歩きでおきる虫刺されを防ぐ

【講師】 はた かずひさ 秦 和寿 氏

山地の有害昆虫や虫刺されを調査対象とし30年以上を経る。日本山岳会医療委員会委員（衛生動物部門）、日本有害生物研究会常任幹事、山の自然学クラブ理事

【内容】 山歩きで虫に襲われたことはありませんか？

日本の山は美しいですが、予期せず、虫に刺されることがあります。特にスズメバチ、マダニやブユ等による被害はアレルギー反応をおこし深刻です。虫害をどう防ぐか。山の有害昆虫類の標本を提示し、虫の被害を防ぐための防虫具や応急処置法を示します。また伝統的な防虫法についても江戸時代の古典籍を紹介します。虫のことを頭の隅にでも入れておけば、いざと言う時にあわてないですみます。



日 時 平成30年7月22日(日) 14:00~16:00

場 所 多摩交流センター会議室 京王線府中駅北口府中駅北第2庁舎6階（府中市寿町1-5-1）

申込方法 当日会場にお越しください。先着50名までとさせていただきます。

受講料 無 料

問合せ先 多摩交流センター内 TAMA市民塾 TEL 042-335-0111

「多摩交流センターだより」の問合せ先

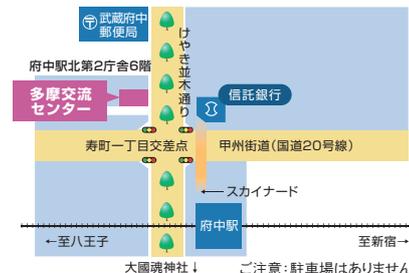
(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/> (当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆ 多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



編集後記

○ 待望の夏が来ました。ぐるり39の夏季号(7~9月)の表紙と最終面の「とっておきフォトスポット」は、東京の島しょ町村を紹介し、美しい島の景色が誌面を飾ります。

今季のトップバッターは新島村の式根島です。東京とは思えないほどの美しい海の風景です。是非、皆さんも、東京の島々を夏休み旅行の候補地に加えてみてください。

先日、隔年で開催される島のイベント、東京愛らんどフェア「島じまん2018」が竹芝桟橋で開催され、2日間で集客数が約11万人となる盛況ぶりでした。イベントの詳細は本文6ページをご覧ください。

○ さて、2ページのお知らせのとおり、当調査会では7月23日(月)に、「府中市市民活動センタープラッツパルトホール」で調査研究結果発表シンポジウムを開催いたします。今回のテーマは『地域戦略としての多文化共生～経済分野と防災分野の取組から～』です。

東京オリンピック・パラリンピックを目前に控え、外国人住民や外国人旅行者は増加の一途を辿っています。一方、人口減少と少子高齢化が進行するなか、これからは外国人住民を労働力としてだけでなく、地域活性化の担い手として捉える必要があります。

○ 昨年、群馬大学の結城恵教授による「多文化共生から

ダイバーシティへ」という講演を聞く機会がありました。講演で気づかされた点は、「日本社会のルールは変えない前提で、外国人にそれがどう受け取られるかは考えていない」、「外国人のもつ力を引き出し、支援する発想がない」、「文化や価値観が異なる外国人の存在は、日本社会の課題解決の糸口になり得る」というものでした。

○ 人は往々にして、他者との違いや差異・比較からしか自らを認識できない場合があり、さらに、「日本の常識は世界の非常識」という言葉まであります。

多文化共生や外国人支援を実践している人達に共通するのは、支援されている側の外国人から、逆に多くの気づきを与えてもらっているという視点です。

○ シンポジウムでは、地域在住の外国人住民を単なる支援の対象としてではなく、地域で活躍する人材として捉え、そうなるための様々な取組を紹介いたします。また、その前提となる自治体や地域の先進的な取組事例などもお伝えいたします。

国際化や多文化共生、ダイバーシティのまちづくりを進めている東京の市町村に、参考やヒントとなる活動や取組をご紹介できると考えています。

多数の皆様がシンポジウムにご来場くださいますよう、お待ちしております。

(M.N)

とっておきフォトスポット

第7回 新島村

きれいな景色やおもしろいものを見つけたら、写真を撮りたくなるよね。
今回はわたげのボクが「石山展望台とモヤイ像」と「^{はぶしうら}羽伏浦キャンプ場」を紹介するよ。



石山展望台とモヤイ像

@WATAGE



新島には、新島特産のコーガ石を素材として、彫刻家や島民、観光客が作ったモヤイ像がたくさんあって、東洋のイースター島とも言われているんだ。石山展望台は、昔コーガ石の採掘場の一部だったんだ。展望台までは、トレッキングコースも整備されているから、約1時間半かけて、白いコーガ石の道を登っていくのもおすすめだよ。

撮影のPOINT!

- 石山展望台からは、式根島や神津島まで見渡すことができるんだ。
- 展望台は島の西側にあるから、夕日がとてもきれいに見えるよ。



はぶしうら 羽伏浦キャンプ場

@WATAGE



200張までテント設営が可能な、広大なキャンプ場なんだ。羽伏浦公園や羽伏浦海岸が近くて、昼間は森林の中の散策や海水浴などが楽しめ、夜はバーベキューができ、日常を忘れるひとときを満喫できるよ。

撮影のPOINT!

- 山側から海側の方に向かって、撮るのがおすすめだよ。
- 羽伏浦公園では、「石のどうぶつ園」があり、コーガ石でつくられた色々な動物を撮影できるよ。
- 夜になると、天然のプラネタリウムを楽しめるよ。



[現地案内]

新島村は、新島と式根島で構成されているよ。

◎新島・式根島へのアクセス

《航路》

竹芝桟橋から高速ジェット船で
約2時間50分(新島)、
約3時間10分(式根島)
竹芝桟橋から大型客船で
約10時間35分(新島)、
約11時間5分(式根島)

《空路》

調布飛行場から約40分(新島)
◎石山展望台へのアクセス
新島港から車で約25分
◎羽伏浦キャンプ場へのアクセス
新島港から自転車で約25分
◎新島ガラスアートセンターへのアクセス
新島港から徒歩約15分

[情報・写真提供] 新島村産業観光課 TEL 04992-5-0284



写真を撮るときは、周囲の状況をよく確認し、柵を越えたり立ち入り禁止区域に入るなど、マナー違反にならないようにね!

注意

【発行日】平成30年7月1日 【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会 【責任者】岸上 隆

〒183-0052東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/> (本紙のバックナンバーをご覧ください。)



再生紙を利用しています。